

## 令和7年度 厚木高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	法令遵守の意識と高い倫理観を持って、生徒・保護者の信頼に応える教育を実現する。	毎月の職員会議後の不祥事防止研修会や朝の打合せにおいて、啓発資料等を活用しながら職員への注意喚起を行った。教育公務員として高い倫理観を持ち、法令遵守について徹底した。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	職員一人ひとりが高い倫理観を持ち、ハラスメント行為の未然防止について当事者意識を持って取り組む。	研修会を通じて職員がハラスメントに関する理解を深めるとともに、お互いにコミュニケーションをとり、日常的に職員間の情報共有を行いやすい職場の環境づくりを進めた。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりが高い倫理観を持ち、わいせつ・セクハラ行為の未然防止について当事者意識を持って取り組む。	職員一人ひとりが言動に注意を払うとともに、お互いに声掛を行っている。生徒からの声を聴く体制を整え、適切に対応した。
体罰、不適切な指導の防止	常に人権に配慮した言動を心がけ、相手の立場や人格を尊重するよう努め、生徒に対する体罰・不適切指導を未然に防止する。	体罰や不適切指導に関する意識啓発を行い、相手の立場や人格を尊重するような人権感覚をもつことに努めている。生徒や保護者に対する言動にも十分配慮するように注意を行った。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	教育課程関係業務の厳正・確実な取組を更に徹底する。	担当者が適切なマニュアルを作成し、全職員がマニュアルに基づいた業務遂行を行うことにより、入学者選抜、成績処理、進路関係等の業務における事故防止につなげた。入学者選抜では電子黒板を活用した研修会を行った。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報等を適正に管理し、更なる個人情報保護及び情報セキュリティ対策を講じる。	個人情報の取扱いについては、所定の確認作業や所定の手続きを徹底した。電子データの扱いには特に注意を払うように職員へ注意喚起を行い、適切に行った。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転の防止と交通法規の遵守	交通マナーの遵守を徹底し、事故・交通違反、酒酔い・酒気帯び運転を未然に防止する。	交通マナーの順守に対する意識啓発を行うことで、交通違反や交通事故の未然防止に努め、事故等の発生を防ぐことができた。自転車のルール変更に関して共有した。
業務執行体制の確保	高い倫理意識を持ち、組織として計画的かつ適正に業務を執行し、県民の要請・期待に応える。	職員各自が高い倫理観を持ち、適切に立案、実施を行っている。また、業務の遂行については「ほう・れん・そう」を徹底して取り組んでいる。
財務事務等の適正執行	経理処理上の事故・不祥事を未然に防止する。	日常的に不適切な会計処理がないよう細心の注意を払い、注意すべき点は全体に対して説明を行った。業者選定会議等が適正に行えるよう、改善することができた。

## ○ 令和7年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和8年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

令和7年度の不祥事防止に関しての組織的な取り組みによって、本校においては事故・不祥事はなく、達成状況は良好であった。教育公務員として法令を遵守する意識や高い倫理観を持ち、不祥事を絶対に起こさず、生徒・保護者はもとより県民の要請と期待に応えるためにはどうあるべきかを考えながら、本校のミッションに沿った教育活動を展開した。

教職員による不祥事は信頼を大きく失墜することにつながり、当事者のみならず神奈川県教育全体への影響がでる。そのため、職員啓発・点検資料を活用して職員会議後に定期的に不祥事防止研修実施し、不祥事に関しての過去の事案や他校のヒヤリハット事例等を共有し、不祥事防止ゼロプログラムの遂行に向けて取り組んだ。

これからも職員一人ひとりが教員としての使命を自覚し、不祥事に対する当事者意識を持ちながら、その根絶を目指して行動することが重要である。今後も管理職による継続した声掛けや職員の同僚性の構築を行い、事故・不祥事防止に向けて、学校全体がチームとして組織的に取り組んでいく所存である。